



2026年2月13日

各 位

会社名 株式会社グラッドキューブ  
代表者名 代表取締役 CEO 金島 弘樹  
(コード番号：9561 東証グロース)  
問合わせ先 専務取締役 CFO 財部 友希  
ir@glad-cube.com

## 資本金および資本準備金の額の減少（減資）に関するお知らせ

当社は、2026年2月13日開催の取締役会において、会社法第447条第1項および第448条第1項の規定に基づき、資本金の額および資本準備金の額の減少（以下「本減資等」）について、2026年3月27日開催予定の第19回定時株主総会に付議することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

### 1. 本減資の目的

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を実現するための経営戦略の一環として、適切な税制の適用を通じて当社グループの成長戦略をより強力に推進し、また今後の資本政策の柔軟性及び機動性を確保することを目的として、会社法第447条第1項の規定に基づき、資本金の額を減少し、その他資本剰余金に振り替えるものであります。

尚、本施策は、当社の持続的な成長と株主価値の最大化を目的とした「戦略的財務政策」の一環であり、以下の3点を主眼としております。

#### (1) 公的支援施策の活用による非連続な成長の実現

資本金の額を3,000万円とすることで、中小企業基本法上の枠組みを最大限に活用できる体制へ移行いたします。これにより、国や自治体による各種補助金、助成金、および高度な研究開発支援プログラムにおける採択の可能性を高め、外部リソースを戦略的に取り込むことで、事業成長を加速させます。

#### (2) 機動的な資本政策および株主還元の基盤構築

資本金および資本準備金の額を減少させ、その全額を「その他資本剰余金」に振り替えることで、累計約7.4億円（予定）の資本の再構築を行います。これにより、将来における機動的な株主還元や柔軟な資本政策の実行基盤を整備することを目的としています。

#### (3) 資本効率（ROE）の最大化

事業規模に適した資本構成へと再構築を図ることで、自己資本利益率（ROE）をはじめとする資本効率指標の向上を意識した経営を推進し、株主価値の最大化を図ります。

### 2. 資本金及び資本準備金の額の減少の要項

#### (1) 減少させる資本金および資本準備金の額

資本金：現在の 372,853千円 から 342,853千円減少し、30,000千円 といたします。

資本準備金：現在の 362,558千円 の全額を減少させ、0円 といたします。

#### (2) 増加する剰余金の項目およびその額：減少させる資本金および資本準備金の全額

（合計 705,411千円）を「その他資本剰余金」に振り替えます。

その他資本剰余金：705,411千円

### 3. 資本金及び資本準備金の減少（減資）の日程

- (1) 取締役会決議日：2026年2月13日
- (2) 株主総会決議日：2026年3月27日（予定）
- (3) 債権者異議申述公告日：2026年4月15日（予定）
- (4) 債権者異議申述最終期日：2026年5月16日（予定）
- (5) 効力発生日：2026年5月22日（予定）

#### 4. 今後の見通し

本件は、純資産の部における科目間の振替であり、当社の業績に与える影響はありません。また、当期の業績予想および配当方針に変更はありません。

以上